

2023年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2022年8月9日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 昭和真空

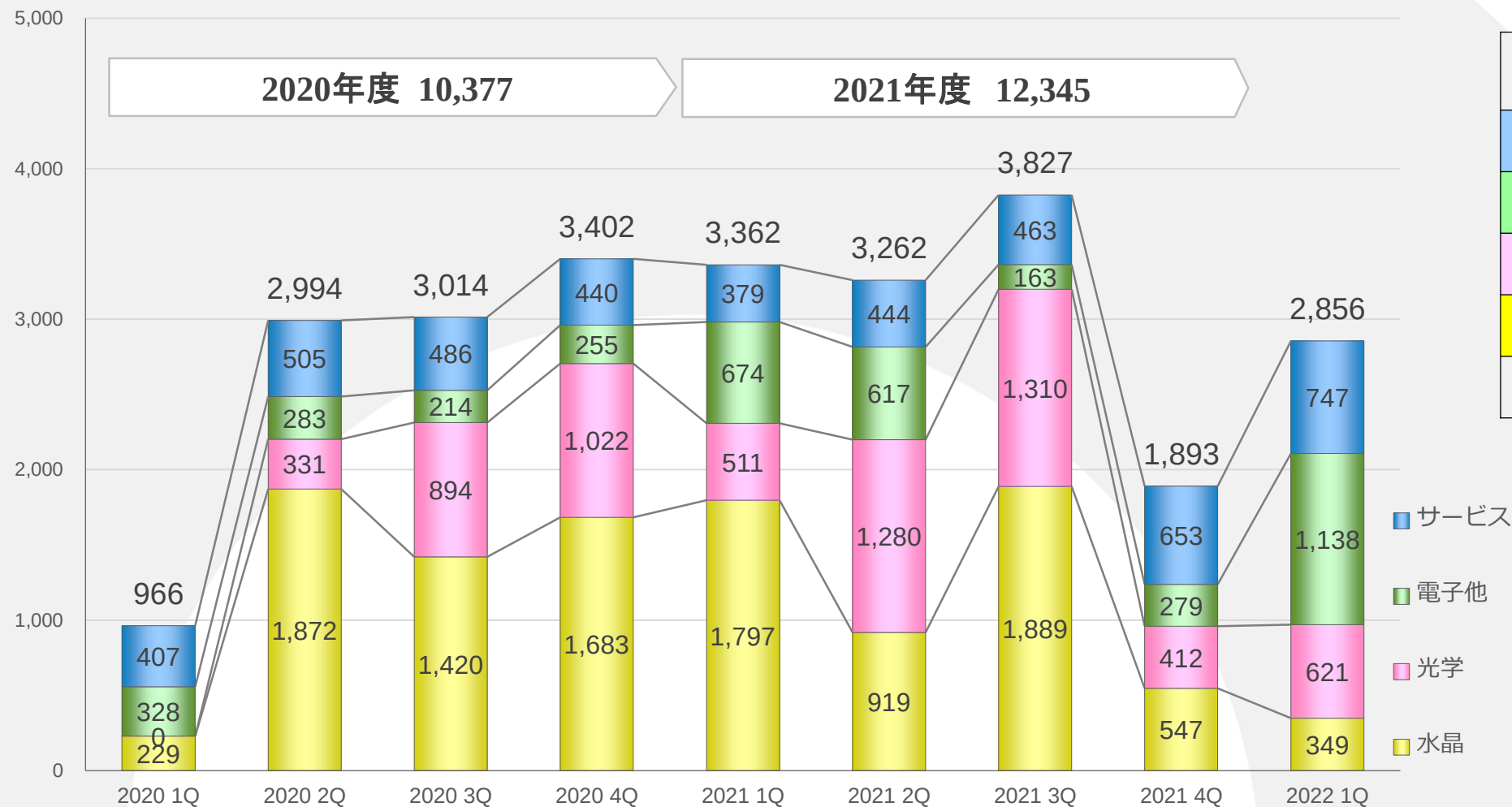
証券コード：6384 東証スタンダード市場

第1四半期経営成績の概況 (連結)

(百万円)	2021年度		2022年度			
	1 Q 実 績		1 Q 実 績		対前年同四半期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受 注 高	3,362	—	2,856	—	▲505	▲15.0%
売 上 高	1,687	100.0%	1,816	100.0%	129	7.6%
営 業 利 益	103	6.2%	167	9.2%	63	61.1%
経 常 利 益	108	6.4%	187	10.3%	78	72.5%
当 期 純 利 益	71	4.2%	134	7.4%	62	87.3%

受注高業界別推移 (四半期、連結)

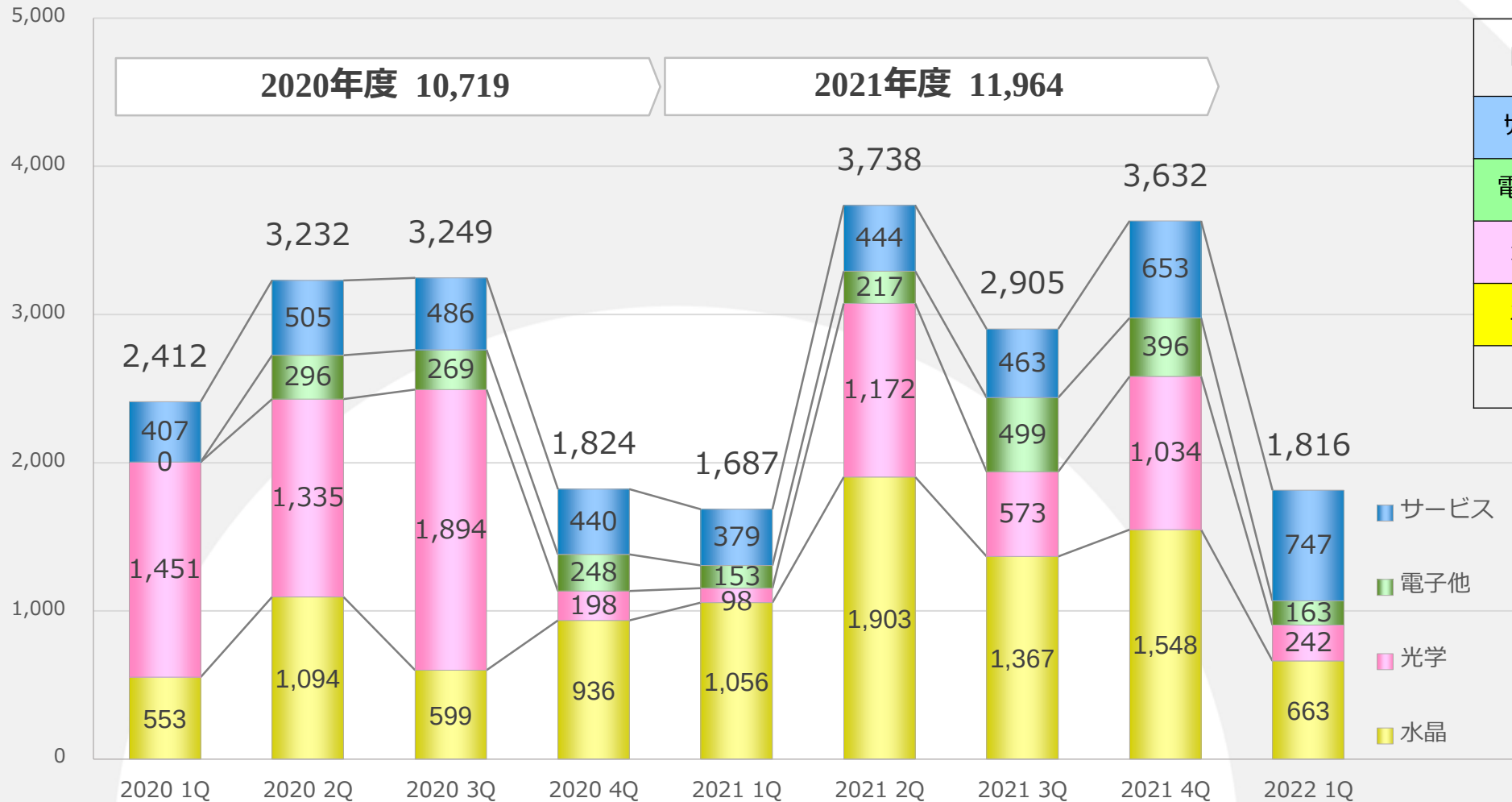
(単位：百万円)



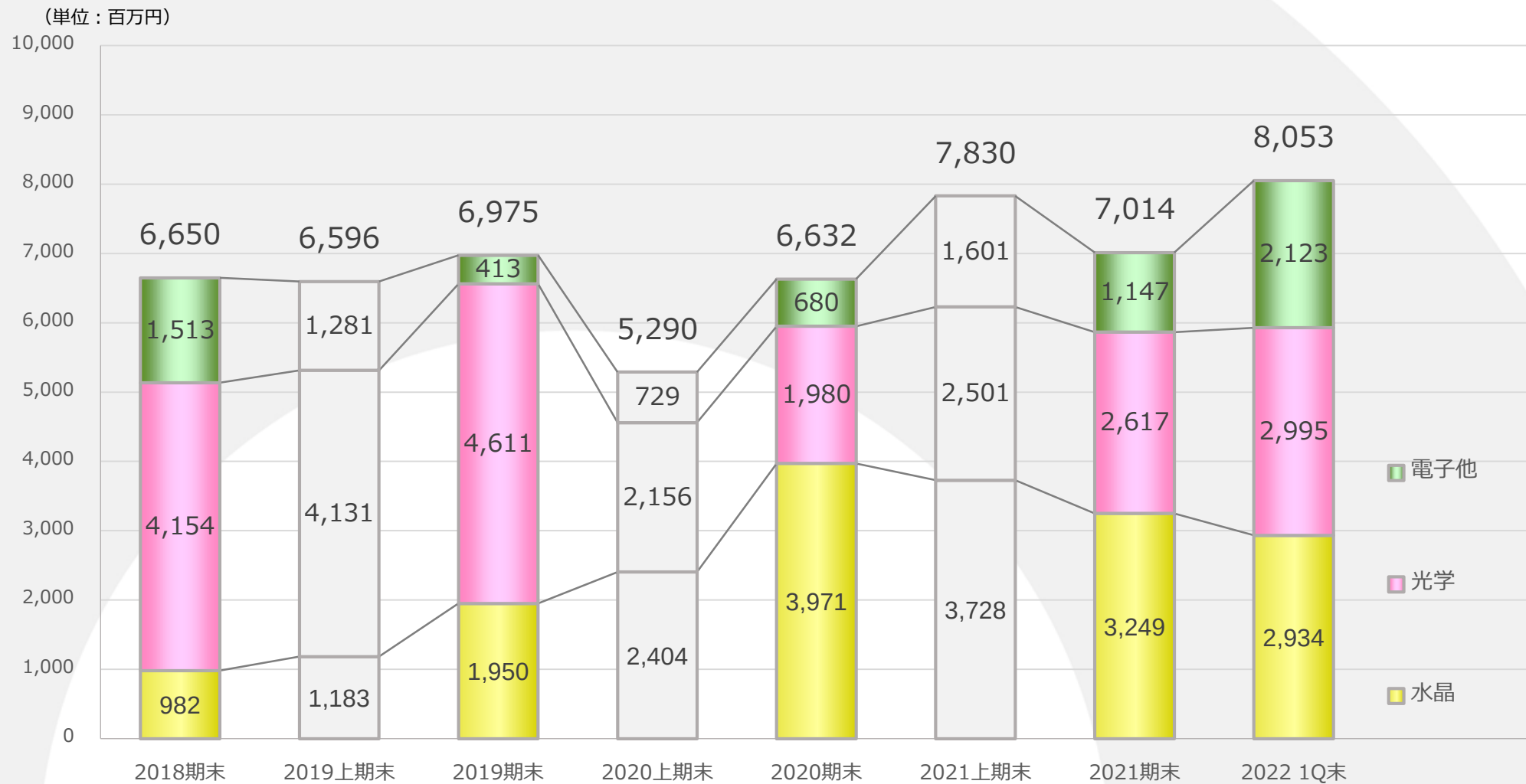
内訳	前年同期	2022 1Q
サービス	379	747
電子他	674	1,138
光学	511	621
水晶	1,797	349
計	3,362	2,856

売上高業界別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)



内訳	前年同期	2022 1Q
サービス	379	747
電子他	153	163
光学	98	242
水晶	1,056	663
計	1,687	1,816



1. デバイスメーカの次世代電子部品開発への取組姿勢は継続、サンプル成膜・依頼実験に対応
2. 世界のスマートフォン出荷台数減少を受け、スマートフォン部品に係る増産設備投資は様子見姿勢
3. 電子・その他分野については、幅広い分野から受注を獲得（新規先含む）
 - ① 医療、太陽光発電及び自動車分野並びにSAW・BAWフィルタに係る装置など
4. 中国上海地域ロックダウンの影響
 - ① 中国子会社からの資機材入荷停止により本社工場稼働率が一時的に低下 ⇒ 解除後回復
 - ② 中国子会社社員による輸出済装置の据付作業停止により、売上計上時期が2Q以降に後倒しとなる案件が発生
5. 資機材長納期化の影響は出来る限り回避
 - ① 代替品への置換え、工程調整などによる案件間振替え、予測に基づく先行発注などを実施
 - ② 引合い案件の提示納期と顧客希望納期が合わず案件によっては受注活動に影響
6. 戦略装置の開発と市場投入に向けた取組み
 - ① 生産性を大幅に向上させた光学用真空蒸着装置（スマホカメラレンズ、HMD用途など）市場投入
 - ② メンテナンス性を大幅に向上させた光学装置用新型イオンソース市場投入
 - ③ 顧客ニーズを踏まえた試作機（表面処理、水晶デバイス向け検査装置）製作開始

業績の見通し及び今後の展望

2022年度通期業績予想 (連結累計)

(百万円)	1Q 実績	2Q 予想	上期 予想	下期 予想	通期 予想
売上高	1,816	4,684	6,500	6,000	12,500
営業利益	167	682	849	721	1,570
経常利益	187	677	864	745	1,609
当期純利益	134	441	575	506	1,081

前回発表（2022年5月11日）からの変更はございません。

1. 戦略装置の開発と市場投入（各分野）
微細加工、表面処理（平坦化）、生産性向上、環境負荷軽減
2. 顧客や大学等研究開発機関との共同開発実施と成果の実現
最先端要素技術を活用した新たな製品やサービス実現に向けたデバイス開発へ関与
3. 装置標準化（仕様共通化、製造工程標準化）の進展による生産効率改善
ユニット単位の仕様共通化、組立ナビゲーター対応のモジュール拡大
4. 品質管理体制の強化
初期不具合情報などの社内連携及び品質検査体制強化
5. 海外子会社との連携強化
営業、生産・アフターサービス強化等
6. 感染症への対応（継続実施）
地域社会、取引先、従業員安全確保、海外子会社を含めた生産体制の整備、等
7. 資機材の長納期化への対応（継続実施）
予測に基づく先行発注、代替品切替、柔軟な生産体制等

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 **昭和真空**
SHOWA SHINKU CO., LTD.